

2021年3月22日

各位

第一工業製薬株式会社

「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」4年連続で最高ランクを取得

第一工業製薬(本社:京都市南区、会長兼社長:坂本隆司)は、株式会社日本政策投資銀行の「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」(以下、「DBJ健康格付」)において4年連続で最高ランクを取得しました。

「DBJ健康格付」融資は、DBJ独自の評価システムにより、従業員への健康配慮の取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、特に次の取り組みが高く評価されました。

- (1) 事業所別・性別・年齢別などの多角的な身体面のデータ分析により課題を把握したうえで、数値目標に基づく施策の実施および効果検証による実効的なPDCAを通して、従業員の健康リスク低減を進めている点。
- (2) 重点施策である生活習慣病対策に関して、より幅広い層への参加を促すため、ウォーキングイベントの実施や在宅勤務でもできるDKS体操の考案など、多様な切り口から施策の検討と展開を行っている点。
- (3) 中期経営計画「FELIZ 115」の基本方針に社員幸福度経営を掲げ、持続的成長を目指す指標としてプレゼンティーズム・アブセンティーズム・エンゲージメントを計測し、健康経営のさらなる推進に向け意欲的に取り組んでいる点。

その結果、当社は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を取得しました。

『第一工業製薬は、従業員を会社の財産と考え、従業員の健康の維持向上に努めます。』の健康宣言のもと、全社をあげて健康経営に今後も取り組んでいきます。

以上

・本件についてのお問い合わせ

第一工業製薬株式会社 管理本部 経営戦略部 広報IR株式グループ

TEL.075-323-5951